

政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」

政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」は、余暇時間の増大や価値観の多様化を背景として文化や芸術への関心が高まっていることを受け、地域の誇りとなる文化・芸術の振興や保存を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 26 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 32.2%、低認知度群は 67.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、女性（33.1%）が男性（31.0%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（41.8%）が 65 歳未満（28.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、高認知度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 26 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.3	29.9	32.2	52.9	15.0	67.9	100.0

性別	男性	1.9	29.1	31.0	54.2	14.8	69.0	100.0
	女性	2.7	30.4	33.1	51.6	15.3	66.9	100.0
年齢別	65 歳未満	1.9	26.9	28.8	55.1	16.2	71.3	100.0
	65 歳以上	3.7	38.1	41.8	46.4	11.8	58.2	100.0

圏域別	仙台	0.9	30.2	31.1	52.1	16.7	68.8	100.0
	仙南	2.2	26.5	28.7	55.7	15.7	71.4	100.0
	大崎	2.6	31.6	34.2	52.8	13.0	65.8	100.0
	栗原	2.7	29.9	32.6	53.0	14.4	67.4	100.0
	登米	4.3	32.4	36.7	47.6	15.7	63.3	100.0
	石巻	2.7	26.8	29.5	55.2	15.3	70.5	100.0
	気仙沼・本吉	1.3	32.6	33.9	51.3	14.8	66.1	100.0

有効回答者数 1,614 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 40.1%、低認知度群は 59.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（66.7%）が 26.6 ポイント、石巻圏域（50.0%）が 9.9 ポイント、気仙沼・本吉圏域（47.4%）が 7.3 ポイント高い。

回答者全体と比較して、栗原圏域（33.3%）が 6.8 ポイント、大崎圏域（33.8%）が 6.3 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 57.5%、低認知度群は 42.5%である。

(%)

政策 26 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.7	36.4	40.1	49.2	10.7	59.9	100.0	
圏域別	仙台	3.5	33.9	37.4	48.7	13.9	62.6	100.0
	仙南	5.8	36.5	42.3	51.9	5.8	57.7	100.0
	大崎	3.9	29.9	33.8	57.1	9.1	66.2	100.0
	栗原	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	100.0
	登米	0.0	66.7	66.7	25.0	8.3	33.3	100.0
	石巻	9.1	40.9	50.0	22.7	27.3	50.0	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	47.4	47.4	47.4	5.3	52.7	100.0

有効回答者数 327 名

学識者等全体	3.0	54.5	57.5	36.4	6.1	42.5	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

2. 政策 26 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 62.9%、低関心度群は 37.1% である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（64.4%）が男性（61.2%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.2%）が 65 歳未満（59.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

石巻圏域（57.4%）では、回答者全体と比較して 5.5 ポイント低い。

(%)

政策 26 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	15.5	47.4	62.9	31.3	5.8	37.1	100.0

性別	男性	15.4	45.8	61.2	32.8	6.0	38.8	100.0
	女性	15.5	48.9	64.4	30.1	5.5	35.6	100.0
年齢別	65 歳未満	12.5	47.4	59.9	34.4	5.7	40.1	100.0
	65 歳以上	23.7	47.5	71.2	22.8	6.0	28.8	100.0

圏域別	仙台	14.8	50.5	65.3	28.7	6.0	34.7	100.0
	仙南	14.0	48.3	62.3	31.8	5.9	37.7	100.0
	大崎	17.7	44.8	62.5	31.0	6.5	37.5	100.0
	栗原	15.6	47.2	62.8	31.6	5.6	37.2	100.0
	登米	17.7	48.4	66.1	27.9	6.0	33.9	100.0
	石巻	13.7	43.7	57.4	37.2	5.5	42.7	100.0
	気山沼・本吉	15.1	50.8	65.9	29.4	4.6	34.0	100.0

有効回答者数 1,634 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 63.8%、低関心度群は 36.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（91.7%）では 27.9 ポイント、気仙沼・本吉圏域（71.1%）では 7.3 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（56.1%）では 7.7 ポイント、栗原圏域（57.2%）では 6.6 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 77.3%、低関心度群は 22.7%である。

(%)

政策 26 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	12.0	51.8	63.8	31.3	4.8	36.1	100.0	
圏 域 別	仙台	12.1	44.0	56.1	37.9	6.0	43.9	100.0
	仙南	14.5	52.7	67.2	30.9	1.8	32.7	100.0
	大崎	10.4	55.8	66.2	28.6	5.2	33.8	100.0
	栗原	14.3	42.9	57.2	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	16.7	75.0	91.7	8.3	0.0	8.3	100.0
	石巻	13.6	54.5	68.1	13.6	18.2	31.8	100.0
	気仙沼・本吉	7.9	63.2	71.1	28.9	0.0	28.9	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	31.8	45.5	77.3	19.7	3.0	22.7	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 26 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 31.6%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 22.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 57.5 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 12.5 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.6%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	24.3	(75.7)
満足度 60点未満の割合		55.9
要検討領域にある回答者全体の割合		31.6

有効回答者数；重視度 1,598人、満足度 1,579人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	1598	1579
	欠損値	123	142
平均値		66.67	52.40
平均値の標準誤差		.453	.448
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.091	17.796
分散		327.268	316.700
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	55.0	50.0	5.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	28.0	(72.0)
満足度 60点未満の割合		50.5
要検討領域にある回答者全体の割合		22.5

有効回答者数；重視度 332人、満足度 329人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	332	329
	欠損値	6	9
平均値		65.29	55.23
平均値の標準誤差		.967	.826
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.614	14.980
分散		310.265	224.414
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	55.00	50.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	57.5	12.5
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

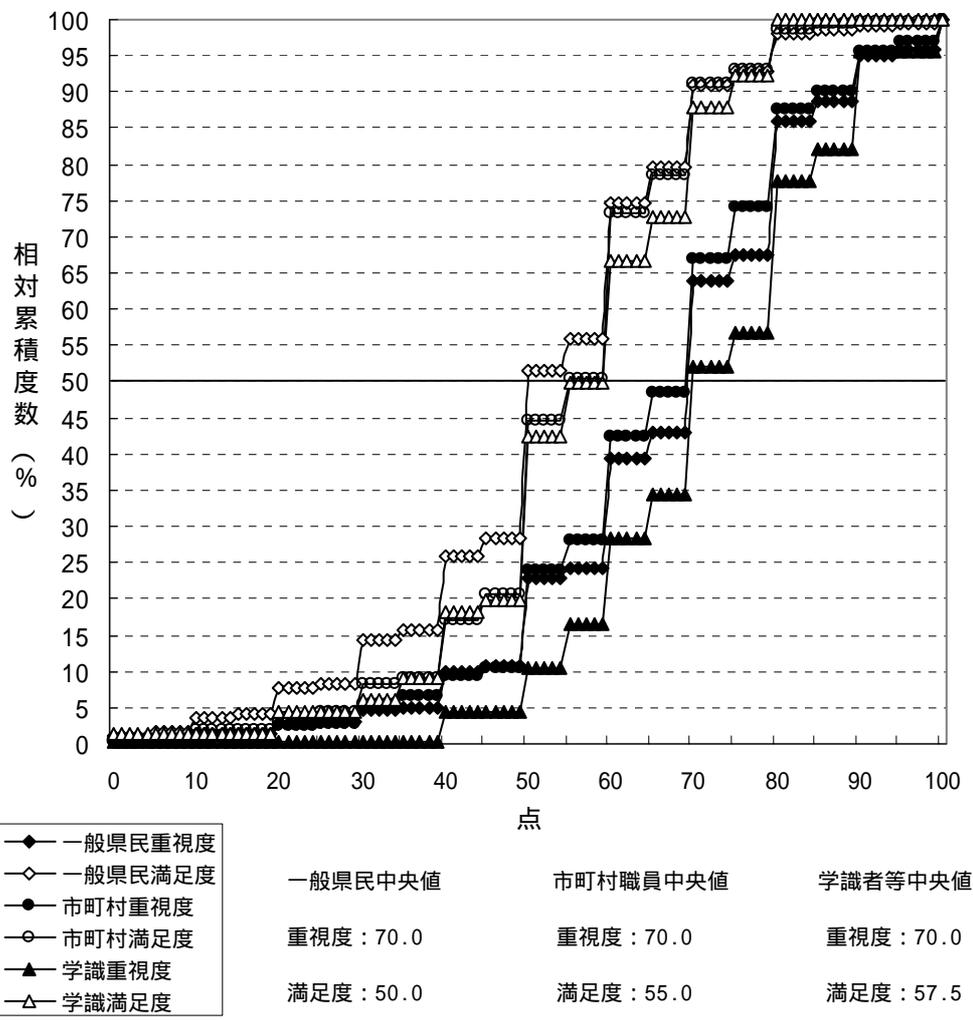
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.4	(83.6)
満足度 60点未満の割合		50.0
要検討領域にある回答者全体の割合		33.6

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		72.09	56.21
平均値の標準誤差		1.796	1.835
中央値		70.00	57.50
最頻値		80	50
標準偏差		14.698	14.912
分散		216.022	222.354
範囲		60	65
最小値		40	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	57.50
	60	80.00	60.00
	75	80.00	70.00

「政策26 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (20.0 点) が女性 (15.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性 (15.0 点) が女性 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 33.1%、女性 29.8%と推定できる。

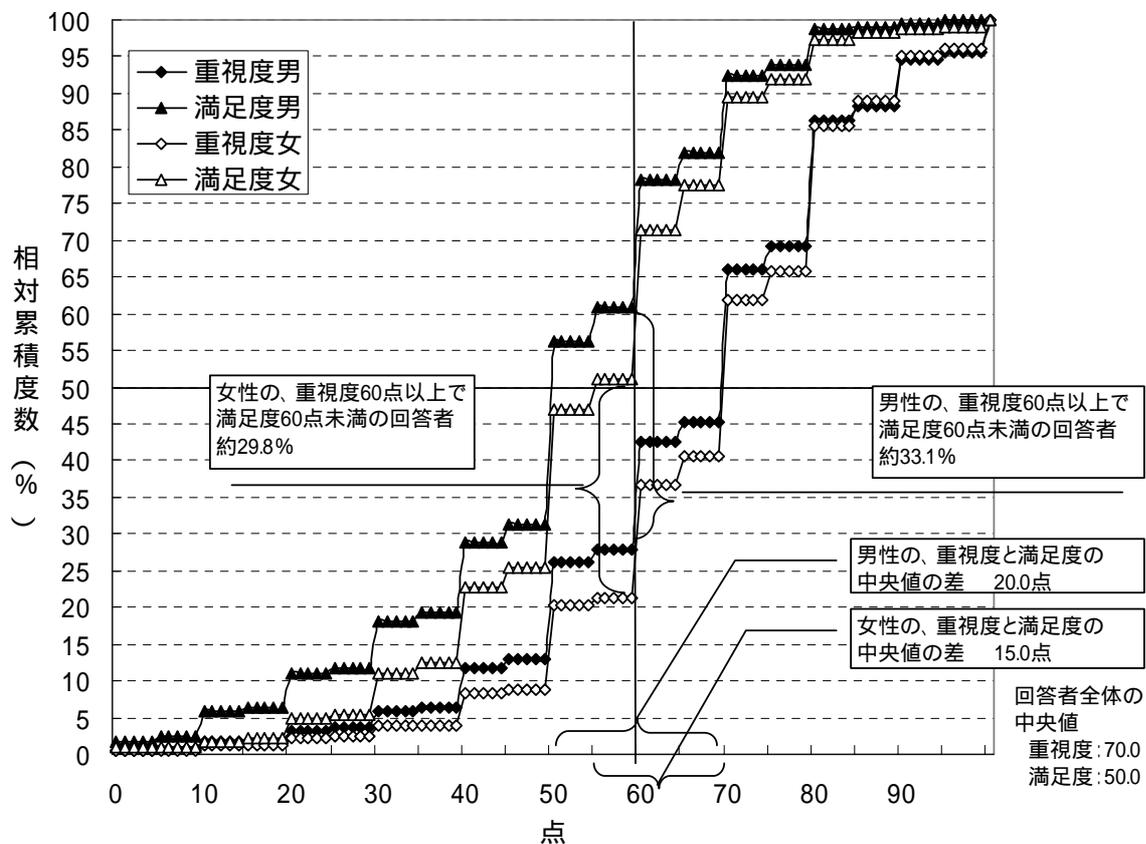
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	50.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	10.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	65.0	60.0	65.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	15.0	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	27.8 (72.2)	21.2 (78.8)
満足度 60 点未満の割合	60.9	51.0
要検討領域にある回答者全体の割合	33.1	29.8

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	759	751
	欠損値	44	52
平均値		65.49	50.15
平均値の標準誤差		.688	.680
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.943	18.642
分散		358.825	347.512
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	821	811
	欠損値	75	85
平均値		67.75	54.53
平均値の標準誤差		.603	.588
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.290	16.754
分散		298.941	280.706
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（15.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 31.7%、65 歳以上 30.4%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

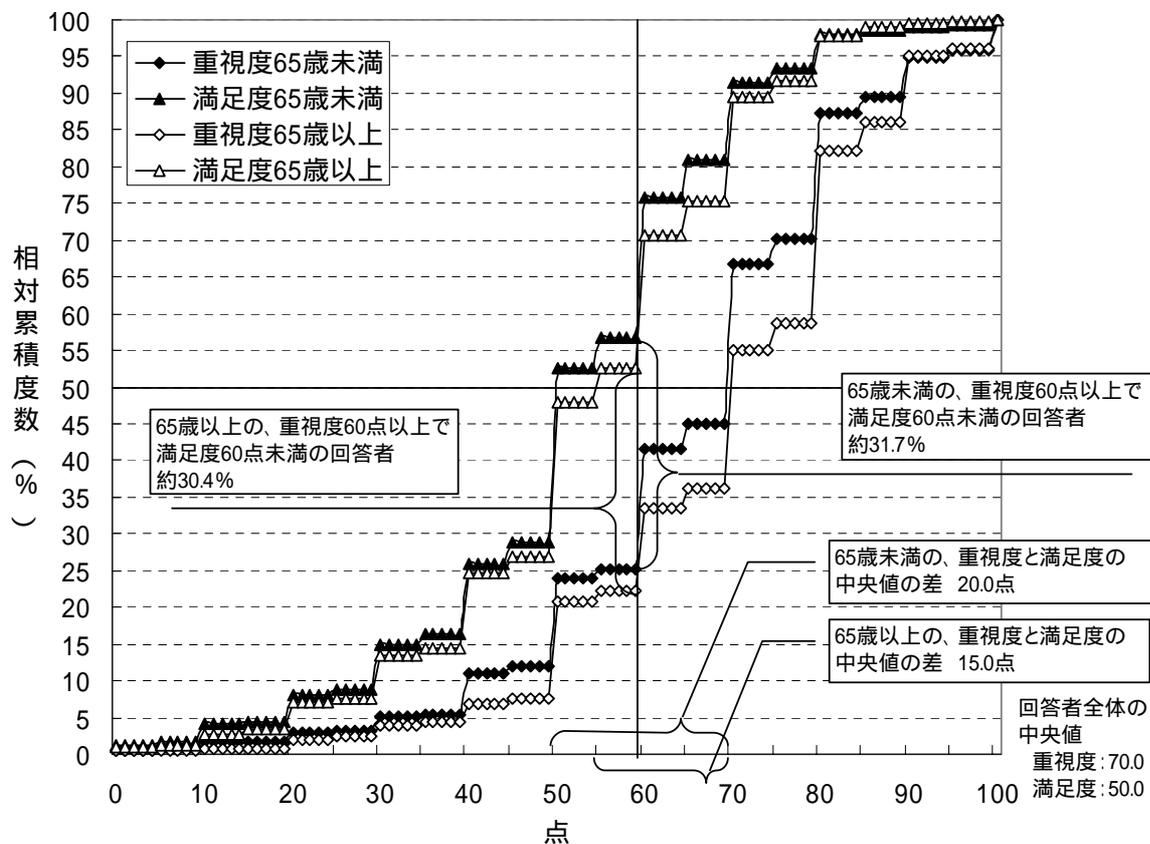
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	15.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	65.0	60.0	65.0
	かい離	15.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0
	満足度	12.5	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	25.1 (74.9)	22.2 (77.8)
満足度 60 点未満の割合	56.8	52.6
要検討領域にある回答者全体の割合	31.7	30.4

政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	1182	1172
	欠損値	58	68
平均値		65.79	51.99
平均値の標準誤差		.533	.522
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.312	17.881
分散		335.339	319.742
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策26重視度	政策26満足度
度数	有効	396	388
	欠損値	61	69
平均値		69.26	53.72
平均値の標準誤差		.873	.894
中央値		70.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.379	17.620
分散		302.039	310.448
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (70.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、登米圏域 (55.0 点) が回答者全体 (50.0 点) よりも 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 (15.0 点)、栗原圏域 (12.5 点)、石巻圏域 (12.5 点) の 3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域 (15.0 点) が回答者全体 (12.5 点) よりも大きく、仙南圏域 (10.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (10.0 点)、登米圏域 (7.5 点)、石巻圏域 (6.3 点) の 4 圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域 (62.5 点)、石巻圏域 (62.5 点) の 2 圏域が回答者全体 (70.0 点) よりも 7.5 ポイント、仙台圏域 (65.0 点) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域 (60.0 点)、栗原圏域 (60.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (60.0 点) の 3 圏域が回答者全体 (55.0 点) よりも 5 ポイント高く、石巻圏域 (50.0 点) が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域 (16.9 点)、仙台圏域 (15.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (13.1 点) の 3 圏域が回答者全体 (12.5 点) よりも大きく、大崎圏域 (10.0 点)、登米圏域 (8.8 点)、仙南圏域 (7.5 点)、栗原圏域 (7.5 点) の 4 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 (15.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (10.0 点)、登米圏域 (8.1 点) の 3 圏域が回答者全体 (7.5 点) よりも大きい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	52.5	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	17.5	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	55.0	50.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	0.0	5.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	65.0	70.0	65.0	62.5	60.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	15.0	10.0	15.0	17.5	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	15.0	12.5	10.0
	満足度	12.5	12.5	10.0	12.5	15.0	7.5	6.3	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	62.5	62.5	70.0
	満足度	55.0	55.0	55.0	60.0	60.0	57.5	50.0	60.0
	かい離	15.0	10.0	15.0	10.0	10.0	5.0	12.5	10.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	60.0	47.5	53.8
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0	51.3	37.5	50.0
	かい離	5.0	0.0	15.0	10.0	10.0	8.8	10.0	3.8
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	75.0	77.5	81.3	80.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	65.0	65.0	67.5	67.5	70.0
	かい離	15.0	15.0	15.0	15.0	10.0	10.0	13.8	10.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	15.0	7.5	10.0	7.5	8.8	16.9	13.1
	満足度	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	8.1	15.0	10.0

4. 政策 26 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」(37.6%) である。

第 2 位は施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」(25.1%) である。

第 3 位は施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」(16.6%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」(43.9%) である。

第 2 位は施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」(27.1%) である。

第 3 位は施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」(13.1%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」(46.3%) である。

第 2 位は施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」(17.9%) である。

第 3 位は施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」(14.9%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」、65 歳以上では施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」、65 歳以上では施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」である。

圏域別

一般県民では、
圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

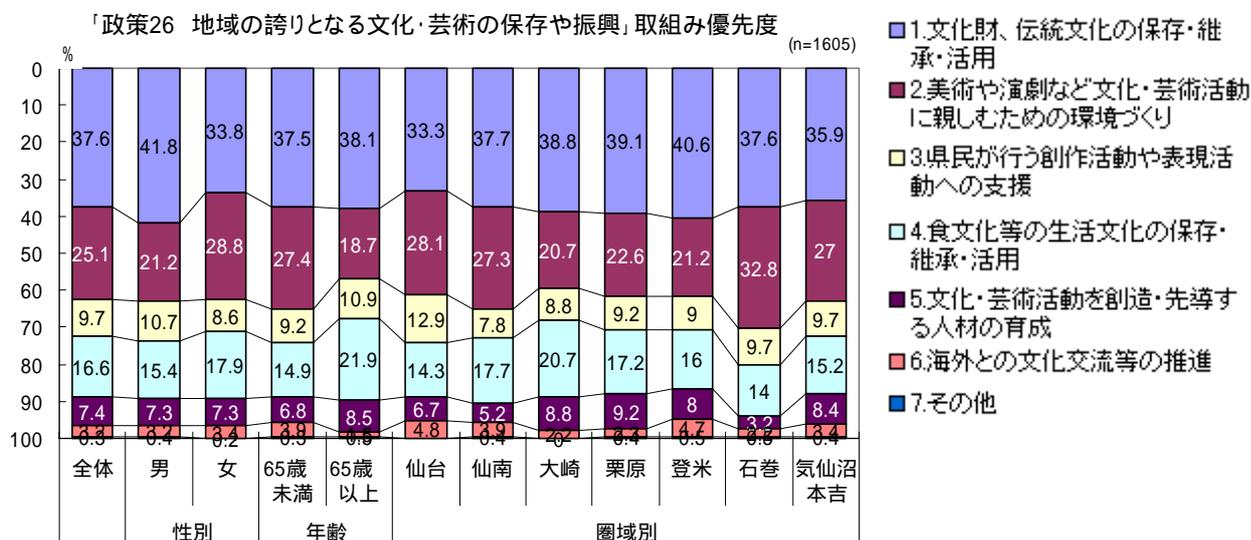
市町村職員では、
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」、登米圏域では施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 2 「美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり」、栗原圏域では施策 3 「県民が行う創作活動や表現活動への支援」、施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」、施策 5 「文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成」、施策 6 「海外との文化交流等の推進」、施策 7 「その他」、登米圏域では施策 1 「文化財、伝統文化の保存・継承・活用」である（栗原圏域では施策 2 と施策 3 と施策 4 と施策 5 と施策 6 と施策 7 が共に第 2 位になっている）。

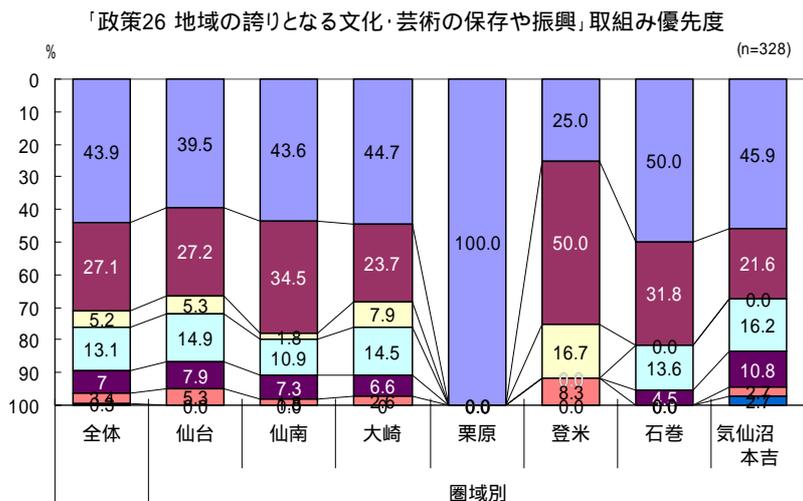
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「食文化等の生活文化の保存・継承・活用」、登米圏域では施策 3 「県民が行う創作活動や表現活動への支援」である。

政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」

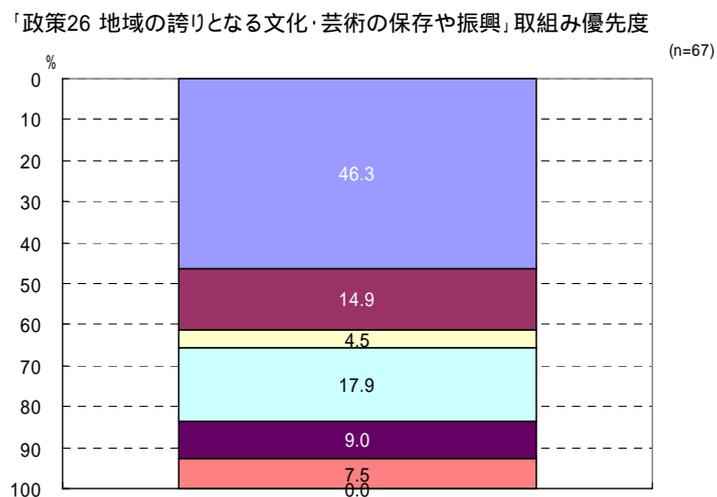
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.文化財、伝統文化の保存・継承・活用	37.6	41.8	33.8	37.5	38.1	33.3	37.7	38.8	39.1	40.6	37.6	35.9
2	2.美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	25.1	21.2	28.8	27.4	18.7	28.1	27.3	20.7	22.6	21.2	32.8	27.0
3	3.県民が行う創作活動や表現活動への支援	9.7	10.7	8.6	9.2	10.9	12.9	7.8	8.8	9.2	9.0	9.7	9.7
4	4.食文化等の生活文化の保存・継承・活用	16.6	15.4	17.9	14.9	21.9	14.3	17.7	20.7	17.2	16.0	14.0	15.2
5	5.文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	7.4	7.3	7.3	6.8	8.5	6.7	5.2	8.8	9.2	8.0	3.2	8.4
6	6.海外との文化交流等の推進	3.2	3.2	3.4	3.9	1.5	4.8	3.9	2.2	2.3	4.7	2.2	3.4
7	7.その他	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5	0.0	0.4	0.0	0.4	0.5	0.5	0.4

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.文化財、伝統文化の保存・継承・活用	43.9	39.5	43.6	44.7	100.0	25.0	50.0	45.9
2	2.美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	27.1	27.2	34.5	23.7	0.0	50.0	31.8	21.6
3	3.県民が行う創作活動や表現活動への支援	5.2	5.3	1.8	7.9	0.0	16.7	0.0	0.0
4	4.食文化等の生活文化の保存・継承・活用	13.1	14.9	10.9	14.5	0.0	0.0	13.6	16.2
5	5.文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	7.0	7.9	7.3	6.6	0.0	0.0	4.5	10.8
6	6.海外との文化交流等の推進	3.4	5.3	1.8	2.6	0.0	8.3	0.0	2.7
7	7.その他	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.文化財、伝統文化の保存・継承・活用	46.3
2	2.美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	14.9
3	3.県民が行う創作活動や表現活動への支援	4.5
4	4.食文化等の生活文化の保存・継承・活用	17.9
5	5.文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	9.0
6	6.海外との文化交流等の推進	7.5
7	7.その他	0.0

政策 26 「地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興」